



生成 AI の活用

先日発表された国際学習到達度調査（「PISA2025」）において、日本の15歳の子供たちの学力は、「科学コンピテンシー」「読解力」「数学的リテラシー」の3分野すべての分野でOECD（経済協力開発機構）加盟国中第1位となり、世界トップレベルにあることが示されました。

その一方で、学校の勉強における「AIの利用頻度」は加盟国38国の中で最下位という結果でした。これを受け、文部科学省からは、学校現場で安全かつ主体的に生成AIを活用できるよう、環境整備を推進するよう通達されています。また、令和12（2030）年度から小学校で全面实施される次期学習指導要領においても、総合的な学習の時間に「情報の領域（仮称）」という学習内容が付加される予定です。これは、情報技術やメディアの特性・リスクを理解し、プログラミング体験や生成AIの活用などの体験的な活動を通して、安全に情報を活用できる資質・能力を一体的に高めるための学習です。小・中・高を通して、情報活用能力を体系的・系統的に育成しようとする構想が打ち出されています。

常滑市でも今年度「常滑市立小中学校における生成AIの利活用の方針」を定め、教育委員会やICT支援員とともに教員研修を繰り返し実施して教職員のスキルアップを図るとともに、子供たちが学習活動において、安全かつ主体的に生成AIを活用できるよう準備を進めてきました。

生成AIは、文章や画像を作成したり自然な対話ができたりと、身近で便利な道具となりつつあります。しかしその一方で、誤った情報が含まれることや、個人情報の入力による思わぬトラブルの危険性も秘めています。

本校では、生成AIをただ使うだけでなく、メリット・デメリットをしっかりと理解した上で「自分で考え、正しく判断し、責任感をもって活用できる力」を育てることを目指した指導を行っています。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

児童会活動・児童会選挙

9月16日(水)、令和8年度後期児童会役員選挙を行いました。その後の朝会で、後期から新しく児童会役員・学級委員になる児童の任命式を行いました。児童会役員・委員長は学校のために、学級委員は学級の代表として、それぞれの活躍を期待しています。



【後期児童会役員】



【後期学級委員】

9月26日(土)、三和っ子育成協議会による「三和っ子フェスティバル」が開催されました。子供たちはペアの児童と一緒に各コーナーを巡っていました。雨天のため、残念ながら一部の体験コーナーが中止となりましたが、校舎内の体験コーナーを子供たちが笑顔で楽しんでいる様子が見られました。また、今年も昨年度に引き続き、災害時に三和小体育館が避難所になることを踏まえて、豚汁の炊き出しを行いました。地域の方々のおかげで、子供たちにとって心に残るイベントになりました。

〔三和っ子フェスティバルにご協力いただいた参加団体様〕

矢田コミュニティ・久米コミュニティ・前山コミュニティ・三和小PTA・おやじの会・
スポーツ愛好会・ボーイスカウト・ガールスカウト・青海ビッグウェーブス・炊き出し担当・
ボランティア(順不同・敬称略)